

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	自治公民館等整備事業(日生)	コード	担当課	日生地域公民館
		03-02-04-06	担当者	植田 学
事業実施期間			電話	0869-72-1006
総合計画 事業(政策)体系	大項目	地域文化と人が輝くまちづくり		
	中項目	生きがいのあるまちづくり		
	小項目	公民館		
	施策	施設の整備・充実		

事業について	
目的	地域が公民館の類似施設及び各自治会又は町内会が管理運営する集会所等を設置し、施設を整備したとき自治公民館・集会所等に対して、備前市自治公民館・集会所等施設整備事業補助金を交付し、もって当該地区の社会教育活動及び良好な生活環境と心豊かな地域づくりの拠点として、その振興に資することを目的とする。
対象 (誰のために)	備前市日生地域の各町内会在住の住民
内容	地域が公民館の類似施設及び各自治会又は町内会が管理運営する集会所等を設置し、施設を整備したとき自治公民館・集会所等に対して、40%(新築の場合は50%)で、備前市自治公民館・集会所等施設整備事業補助金を交付する。

事業の結果			
実施項目	17年度		
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
補助金交付要案件数	7 件		
補助金交付実施件数	7 件		
補助金交付金額	478,000 円		
自治公民館総数	18 館		

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	478	国庫補助金等	0	直接事業費	0	国庫補助金等	0
	人件費	2,095	受益者負担	0	人件費	0	受益者負担	0
	合計	2,573	市債	0	合計	0	市債	0

結果指標①	結果指標名	補助金交付実績	
	結果指標量	7	
	単位	件	
	対前年比	—	0.00%
結果指標②	結果指標名	事業費	
	結果指標量	2,573,000 円	
	単位	円	
	対前年比	—	

事業の成果	成果指標名	補助金交付実施率	式又は説明	実施件数/要案件数
	成果指標量	100%		
	対前年比	—	0.00%	
	到達目標値	100%	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価			
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等: 備前市自治公民館・集会所等施設整備事業補助金交付要綱	課題認識 17年度までは、備前市自治公民館・集会所等施設整備事業補助金交付要綱に基づき、各地区の集会所等からの要望に応じて補助事業を行ってきたが、それはそれで目的は達成できている。しかし、本来は市の所有施設であるとの考えから、18年度からは受益者から従来同様の割合で負担を徴収して市が直接、修繕や備品購入・工事などの管理をすることになる。
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	各施設からの事業要望を費用面で検討した上で、集会所の整備費用の20%を限度として適正な補助を実施した。ただし、今後は予算が限られてくることが予想されるので、緊急性を優先し年次ごとに計画的に実施する必要がある。
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	これらの施設は、町内会住民にとって集会や文化行事に頻繁に利用している。なくてはならない施設であるため、その一部がこわれ使用できなくなることは地域活動に支障を来すことになるので、交付要綱の要件を満たすものであれば予算の範囲で要望に応じている。
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

総合評価	各施設からの要望に応じてそれぞれの年度で対応して実施しているため、本来の目的は達成している。次年度から実施方法が変わることになるが、目的は同じであるので引き続き要望を取って実施するが、厳しい財政状況を鑑み、緊急性を重要視し高いものから順次年度ごとに計画的に実施するものとする。	評価区分 <A~E> B
------	--	------------------------

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合	
翌年度 結果指標量①	(要案件数)	結果指標量②
目標値	結果指標量	100%

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	各施設からの要望を中長期的にとらえ、計画的に効率よく実施する。	計画年度ごと	予算の効率確保と事業の効率的実施ができる。
妥当性	市内での地域間で統一を図る。	平成18年度	市として公平性が守れる。